

〔国際会議開催〕

申請者	三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授 三宅 秀人	2175014
国際会議名称	19th International Conference on Metalorganic Vapor Phase Epitaxy (ICMOVPE-XIX)	
開催期間	2018 年 6 月 3 日～6 月 8 日	
開催場所	奈良春日野国際フォーラム (奈良県奈良市)	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

本会議は、有機金属気相成長法 (MOVPE 法) を用いた結晶成長技術、結晶評価技術、さらにはそのデバイス応用に関する内容を対象として最新の研究成果を発表・討論することを目的としている。2 年毎に会議を開催し、第 19 回開催を行った。本会議は、化合物半導体作製技術、それにとりもなう発光素子、さらには窒化物半導体材料の創出など産学分野の発展に大きく貢献している。例えば、半導体レーザーや受光素子、ワイヤレス通信に不可欠なマイクロ波半導体などは化合物半導体によって実現されており、これら化合物半導体の多くは本会議のテーマである有機金属気相成長法 (MOVPE 法) により作製されている。化合物半導体薄膜結晶成長の進展は、デバイスの向上と密接な関係を有し、更なる発展には、MOVPE 法について、総括的で深い理解が必要不可欠である。そのため、今回は第 19 回目を迎え、世界各国から一線級の研究者が一堂に会し、基礎から応用までの広範な分野にわたって成果発表、情報交換を行い、学術的な進展を参加者が共有し、その新しい知識・情報の階層化・整理することで、エレクトロニクスをはじめとした研究領域の更なる進展・拡大する位置づけで開催を行なった。結果、全参加者のうち、およそ 45%、178 名が海外からの参加者になり、特にドイツ・米国・ポーランドで 21% を占め、アジア圏はもとより、欧米各国から研究者が積極的に参加した国際性豊かな会議となった。世界 25 カ国から研究者が参加し、2014 年ノーベル物理学賞受賞者の天野浩教授の基調講演をはじめ、MOVPE 関連技術の最新成果の論文発表を通して活発な議論が展開され、研究機器の展示、ポスターセッションなども含め、本会議の目的・意義は十分達成された。